

2021年 第1回日本脊椎脊髄病学会・日本側弯症学会合同社会保険等システム検討委員会 議事録

日 時：2月17日（水）19：00～20：00

場 所：Web Zoom

参加

日本脊椎脊髄病学会委員：大鳥精司（担当理事） / 遠藤健司（委員長） / 新井嘉容 / 酒井義人 / 鈴木秀和 / 高野裕一 / 辻 崇 / 平井高志 / 平泉 裕 / 牧 聡 / 宮城正行 / 渡辺航太 / ◇青田洋一 / ◇山縣正庸

側弯症学会委員：青田洋一、宮城正行（委員長）、井上 玄、酒井大輔、谷口優樹、藤田順之、八木 満

オブザーバー：吉井俊貴

欠席

種市 洋（担当理事）

外保連担当

JSSR 手術：遠藤、渡邊、実務：鈴木、牧、検査：高野、平井、処置：委員長平泉、鈴木、平井、麻酔：平井、広報：高野

検査画像診断WG：遠藤、検査医療材料WG：鈴木

側弯症 手術：藤田、八木、実務：井上、宮城、処置：酒井大輔、検査：酒井大輔、麻酔：宮城

議事項目

2022年度要望書類について確認

新規要望項目

- ① 自己骨髄由来間葉系幹細胞移植術（酒井大輔先生）
- ② 立位全身骨撮影（EOS）：継続要望（宮城先生）
- ③ 立位全身骨撮影（術前精密）（EOS）：継続要望（宮城先生）
- ④ （筋肉量測定：腰痛学会を通じて内保連から要望）→JOAより提出予定

改正要望項目

- ① 人工椎間板置換術増点要望（平井先生、吉井先生）
- ② 髄核融解術（平井先生）：認定証の更新期限についても記載する
- ③ 画像等手術支援加算 患者適合型手術支援ガイドに脊椎手術を追加：継続要望（遠藤先生）
- ④ K931 超音波凝固切開装置等加算の脊椎前方手術への適応拡大（リガシユア、ハーモニックなど）（牧先生）

- ⑤ 脊椎側彎症手術の注に後彎症矯正の追加（八木先生）
- ⑥ 上位頸椎加算（渡邊先生）
- ⑦ 内視鏡下椎弓形成術複数椎間加算：継続要望（高野先生）
- ⑧ 通則 14 の追加（内視鏡下椎弓形成）：継続要望（高野先生）

廃止要望項目

- ①（K117-3 椎間板ヘルニア徒手整復術：日整会から廃止要望）

要望項目アンケートについて確認事項

技術改正

1. 内視鏡関連が JOA からは提出されていない→提出主学会は JSSR とする
2. 椎間板内酵素注入増点：共同提案で主学会 IVR となっている。IVR は施設要件と医師要件の見直し→IVR と調整のうえ、主学会は JSSR としていく
3. OPLL 前方及び OLF の複数椎間加算要望が JOA+勤務医会より提出あり→前回の経緯を踏まえて、今回は見送りの方向

・ PPS (除圧を伴わない固定) P62 S91-0099700 脊椎固定術に対する脊椎インストゥルメンテーション手技を改正、経皮的脊椎後方固定術として試案から作成し、2024 年に提出へ

→宮城、牧、辻、新井、酒井義人

→JOA, インスト学会データの結果にて検討

・放射線被曝→日整会、勤務医会より提出

・BKP 適応拡大→進行中

・4月の日本脊椎脊髄病学会にて委員会活動報告：牧先生 大鳥先生より学会に連絡していただく

・7月厚労省プレゼン：自己骨髄由来間葉系幹細胞移植術、人工椎間板置換術増点、髄核融解術

次回委員会 4/7(水曜)予定

今後は10月委員会で2024年要望項目について評議員アンケートを決めていく